

結婚・出産・子育て・就職に関する意識調査
アンケート調査報告書

目 次

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 回収結果.....	1
4 本調査報告書の基本的な事項	1
アンケート結果.....	2

調査の概要

1 調査の目的

人口の現状と将来の展望を提示する「米沢市人口ビジョン」の改訂に向けて、市民の結婚・出産・子育て、就職、移住に関する意識や希望を把握するため。

2 調査の方法

(1) 調査対象

市内にお住まいの18歳以上39歳以下の方

(2) 抽出方法

無作為抽出（同一世帯からは一人）

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収及びWebによる回答

(4) 調査時期

令和5年7～8月

3 回収結果

(1) 配布数 1,500

(2) 全回収数 546

(3) 有効回収数 545 [内Web回答 224 (41.1%)]

(4) 有効回収率 36.3%

4 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値等の基本的な取扱いについて

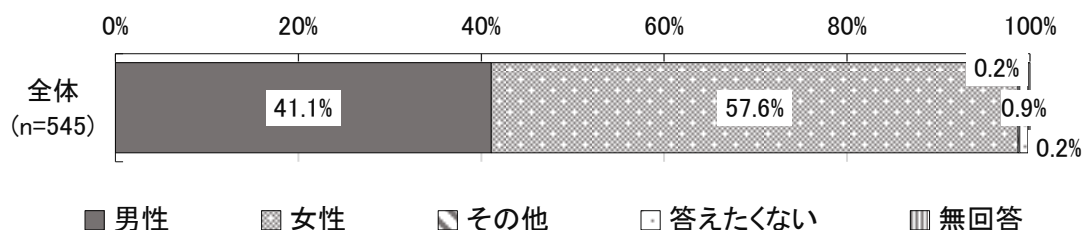
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数又は該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・グラフ内の0値は、凡例の設問カテゴリー（選択肢）の後ろに“(0)”を追加し省略する場合があります。
- ・本文中の“「」”内は[アンケートの回答項目]、“『』”内は[アンケートの回答項目を複数合わせて表示したもの]となります。

アンケート結果

問Ⅰ あなたご自身のことについて

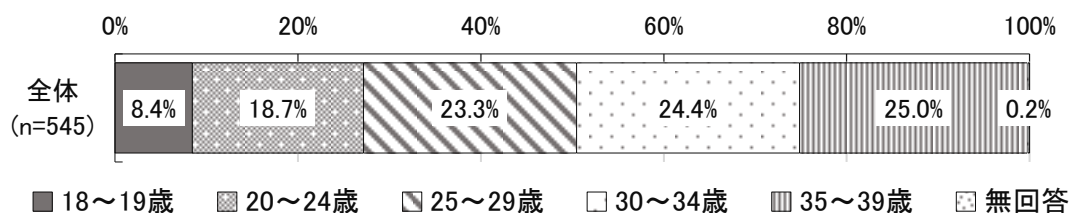
(1) あなたの性別

性別については、「男性」が41.1%で、「女性」が57.6%と女性の方が多くなっています。



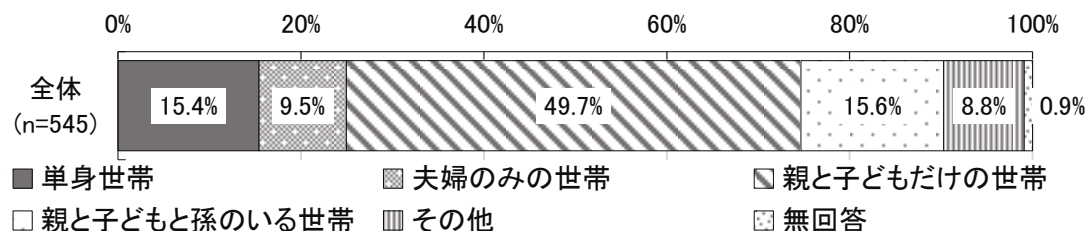
(2) あなたの年齢

年齢については、「35～39 歳」が25.0%と最も高く、次いで、「30～34 歳」(24.4%)、「25～29 歳」(23.3%)、「20～24 歳」(18.7%)、「18～19 歳」(8.4%)の順となっています。



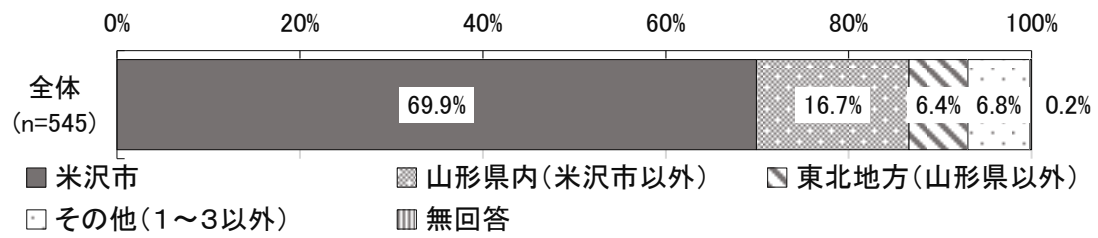
(3) あなたの世帯構成

世帯構成については、「親と子どもだけの世帯」が49.7%と最も高く、次いで、「親と子どもと孫のいる世帯」(15.6%)、「単身世帯」(15.4%)、「夫婦のみの世帯」(9.5%)、「その他」(8.8%)の順となっています。



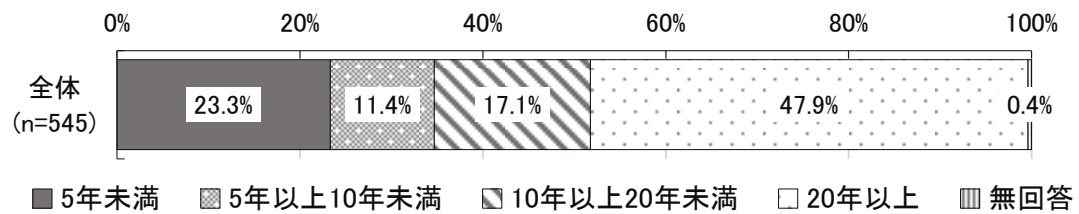
(4) あなたの出身地

出身地については、「米沢市」が 69.9%と最も高く、次いで、「山形県内(米沢市以外)」(16.7%)、「東北地方(山形県以外)」(6.4%)、「その他(1～3以外)」(6.8%)の順となっています。



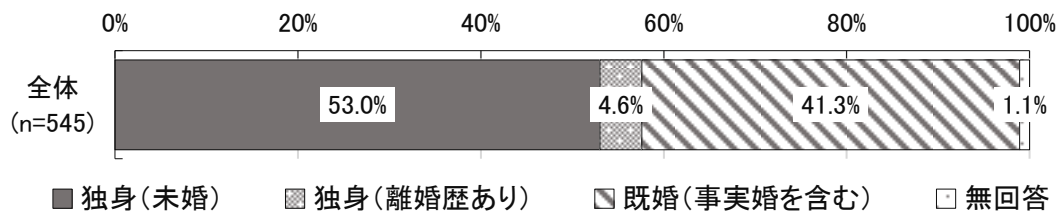
(5) あなたの居住年数(※通算年数)

居住年数については、「20 年以上」が 47.9%と最も高く、次いで、「5 年未満」(23.3%)、「10 年以上 20 年未満」(17.1%)、「5 年以上 10 年未満」(11.4%)の順となっています。



問2 あなたは、現在、結婚していますか。

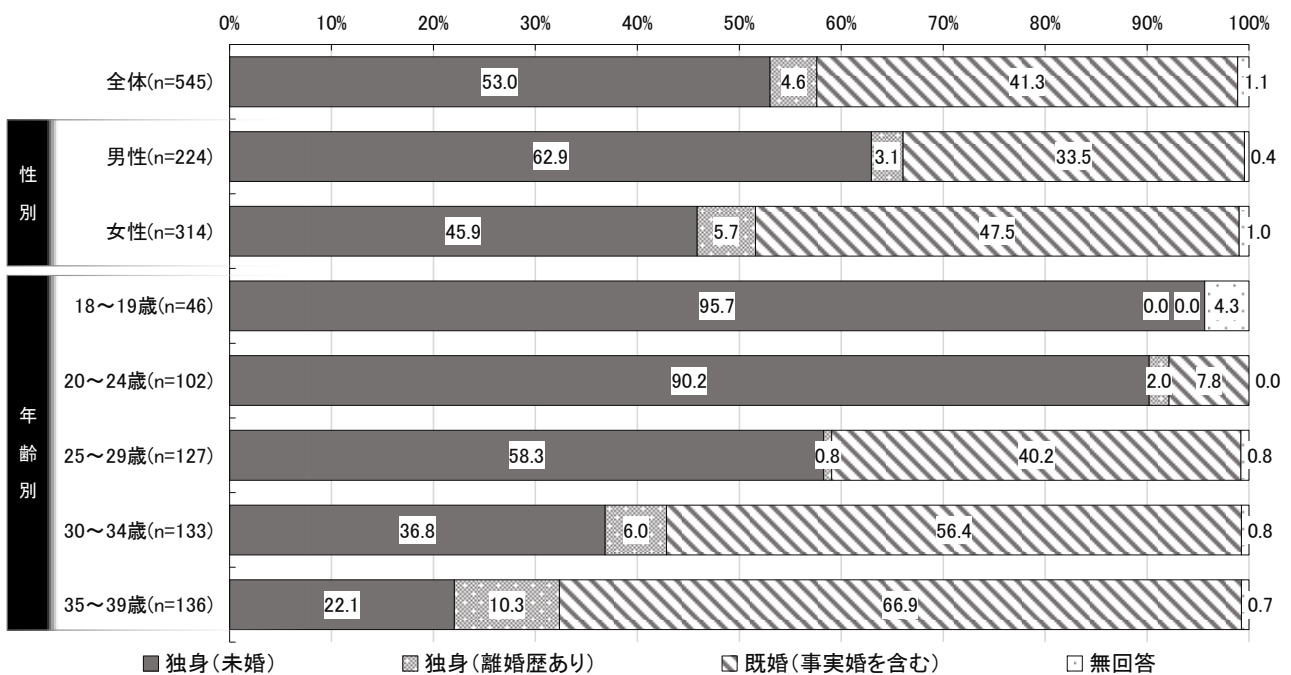
婚姻の状況については、「独身（未婚）」が 53.0%と最も高く、次いで、「既婚（事実婚を含む）」（41.3%）、「独身（離婚歴あり）」（4.6%）の順となっています。



<属性による分析>

性別でみると、男性の方が女性より「独身（未婚）」が高くなっています。

年齢別でみると、「既婚（事実婚を含む）」は、24 歳以下では1割以下ですが 25 歳以上では4割を上回っています。

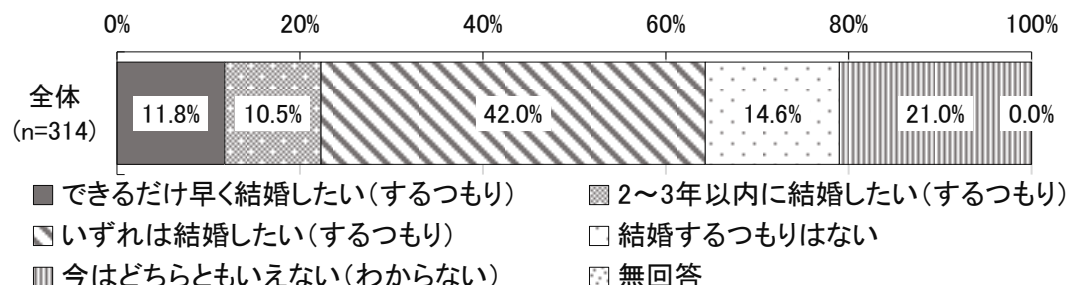


問3

今後の結婚に関する希望をお聞かせください。

(問2で現在は「独身」と回答した方のみ)

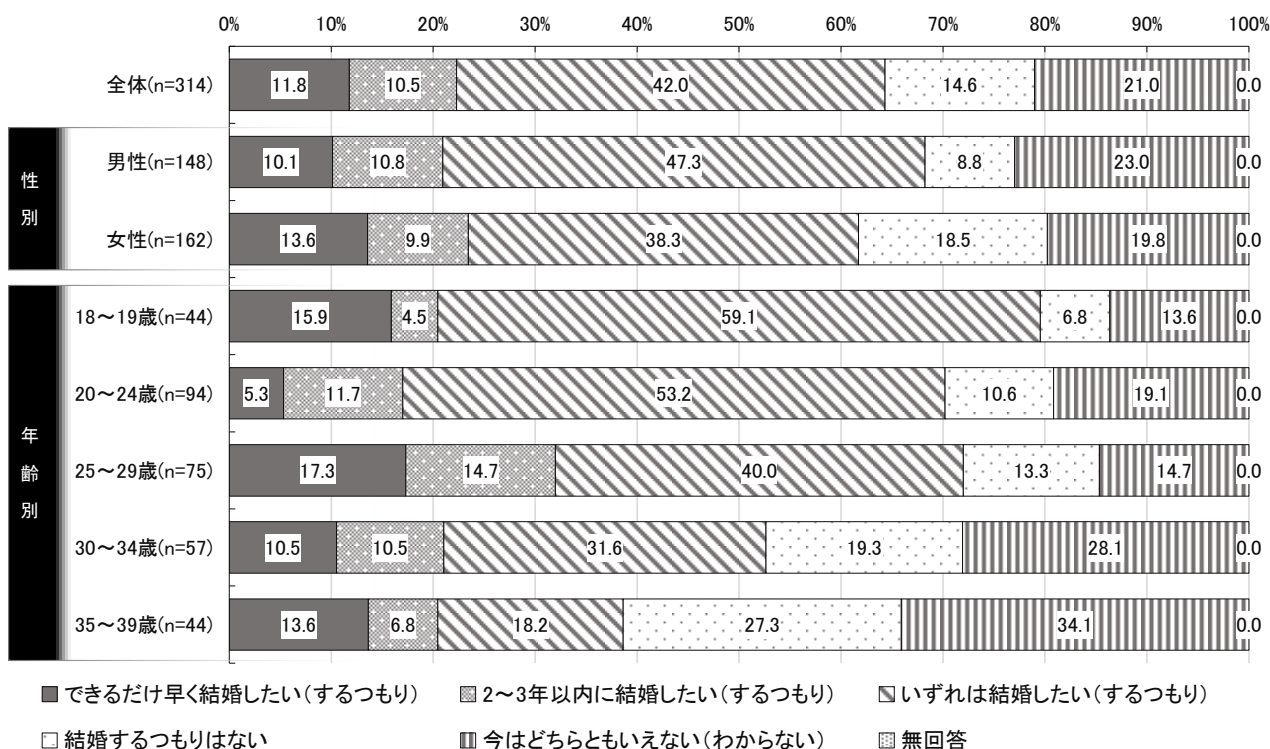
結婚に関する希望については、「いずれは結婚したい(するつもり)」が 42.0%と最も高く、次いで、「今はどちらともいえない(わからない)」(21.0%)、「結婚するつもりはない」(14.6%)、「できるだけ早く結婚したい(するつもり)」(11.8%)、「2～3 年以内に結婚したい(するつもり)」(10.5%)の順となっています。



<属性による分析>

性別でみると、女性の方が男性より「結婚するつもりはない」の割合が高くなっています。

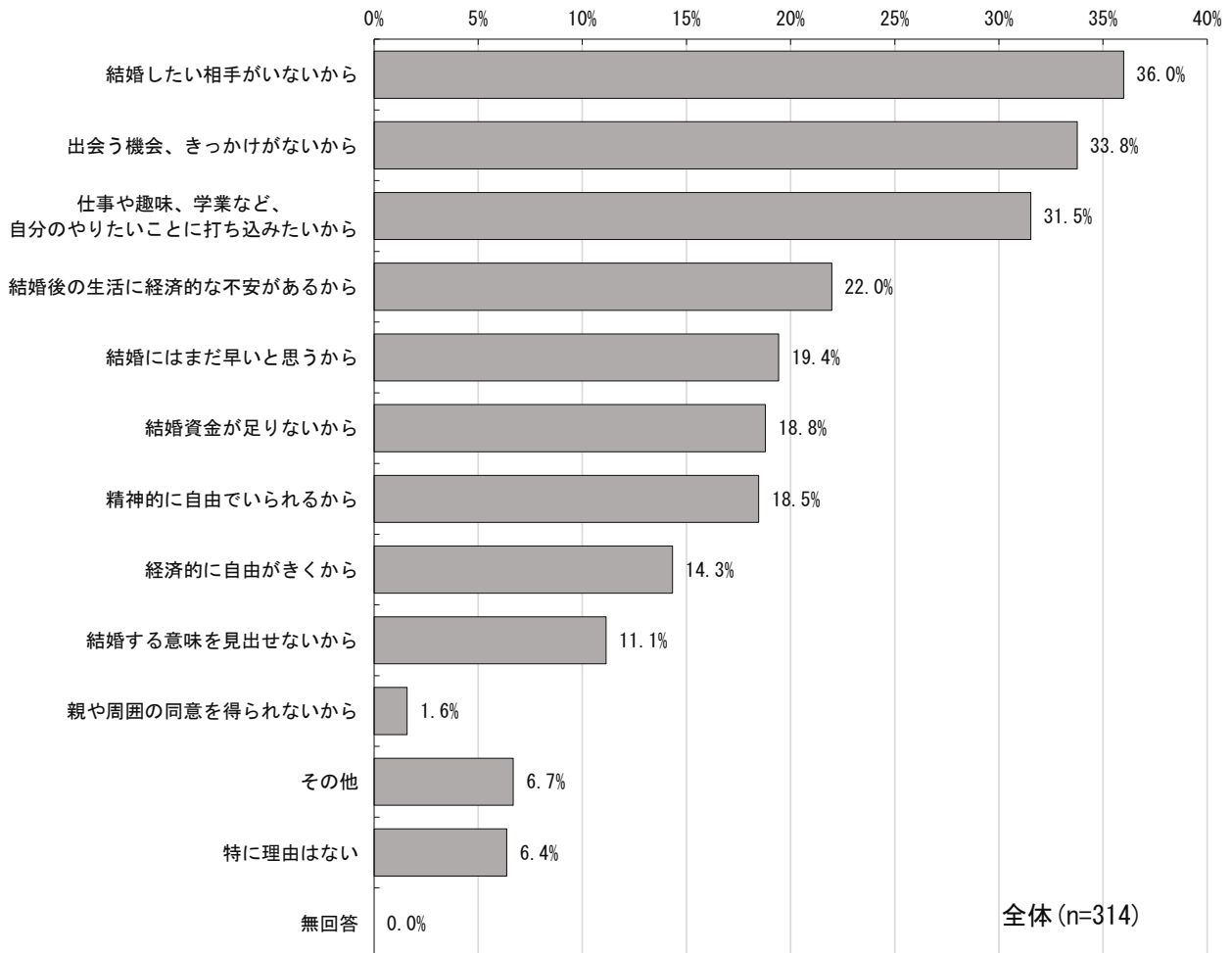
年齢別でみると、概ね年代が高くなるにつれて『結婚したい』割合は減少し、「結婚するつもりはない」の割合が高くなっています。



問4

結婚していない理由をお聞かせください。（問2で現在は「独身」と回答した方のみ）

結婚していない理由については、「結婚したい相手がいないから」が 36.0%と最も高く、次いで、「出会う機会、きっかけがないから」（33.8%）、「仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたいから」（31.5%）となっています。



<属性による分析>

性別でみると、男性では「出会う機会、きっかけがないから」が、女性では「仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたいから」が第1位となっています。

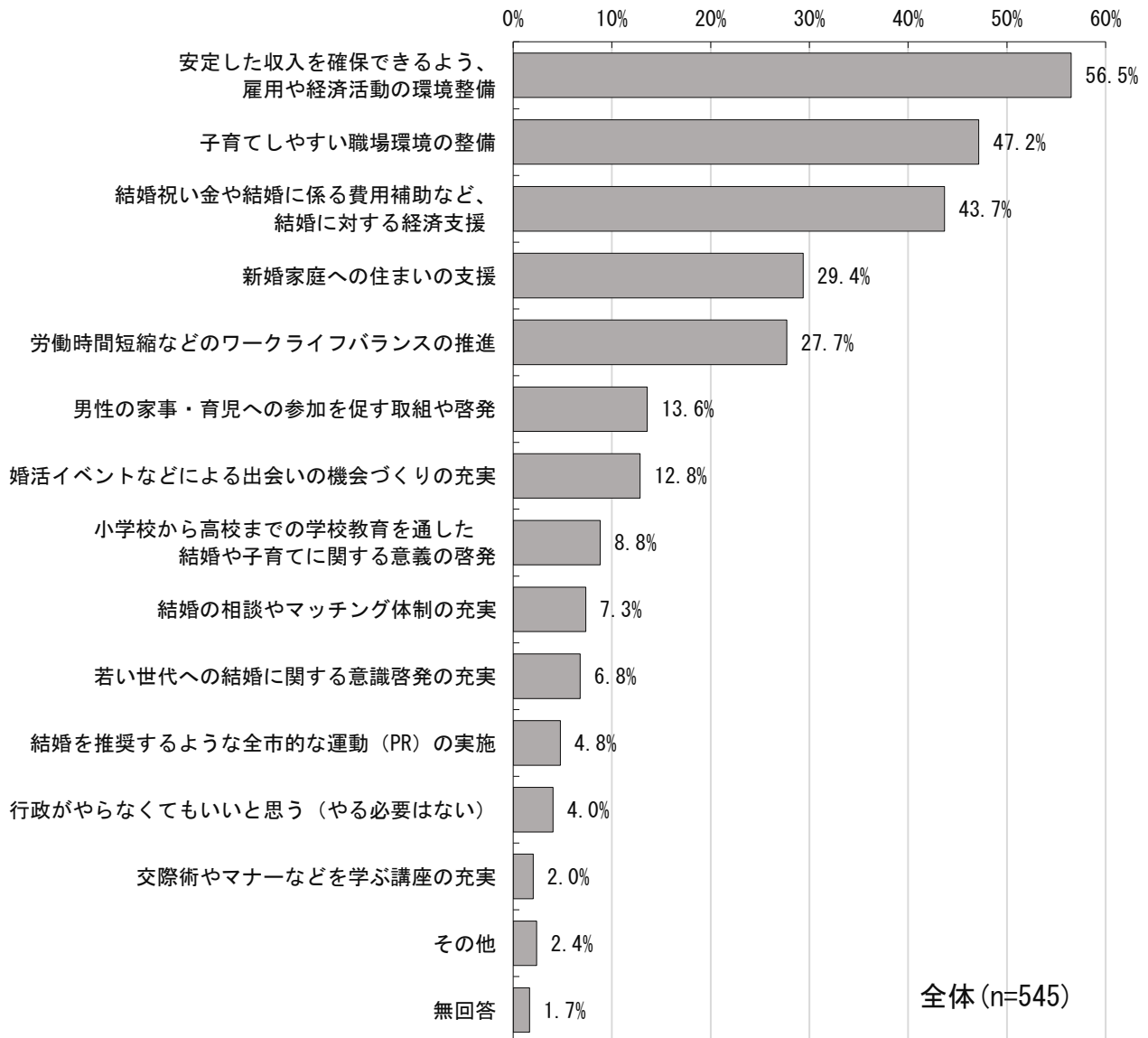
年齢別でみると、25歳以上では「出会う機会、きっかけがないから」が第1位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=314)		結婚したい相手がい ないから 36.0%	出会う機会、きっ かけがないから 33.8%	仕事や趣味、学業 など、自分のやり たいことに打ち 込みたいから 31.5%
性別	男性(n=148)	出会う機会、きっ かけがないから 46.6%	結婚したい相手がい ないから 38.5%	結婚後の生活に経 済的な不安がある から／仕事や趣 味、学業など、自 分のやりたいこと に打ち込みたいか ら 26.4%
	女性(n=162)	仕事や趣味、学業 など、自分のやり たいことに打ち 込みたいから 36.4%	結婚したい相手がい ないから 34.0%	精神的に自由でい られるから 24.1%
年齢	18～19歳(n=44)	結婚にはまだ早い と思うから 50.0%	結婚したい相手がい ないから 43.2%	仕事や趣味、学業 など、自分のやり たいことに打ち 込みたいから 40.9%
	20～24歳(n=94)	仕事や趣味、学業 など、自分のやり たいことに打ち 込みたいから 51.1%	結婚にはまだ早い と思うから 35.1%	結婚したい相手がい ないから 34.0%
	25～29歳(n=75)	出会う機会、きっ かけがないから 37.3%	結婚したい相手がい ないから 34.7%	結婚後の生活に経 済的な不安がある から 29.3%
	30～34歳(n=57)	出会う機会、きっ かけがないから 43.9%	精神的に自由でい られるから 40.4%	結婚したい相手がい ないから 29.8%
	35～39歳(n=44)	出会う機会、きっ かけがないから 47.7%	結婚したい相手がい ないから 43.2%	結婚後の生活に経 済的な不安がある から 25.0%

問5

結婚を支援するために期待する取組はありますか。(主なもの3つまで○)

結婚を支援するための取組については、「安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備」が 56.5%と最も高く、次いで、「子育てしやすい職場環境の整備」(47.2%)、「結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援」(43.7%)となっています。



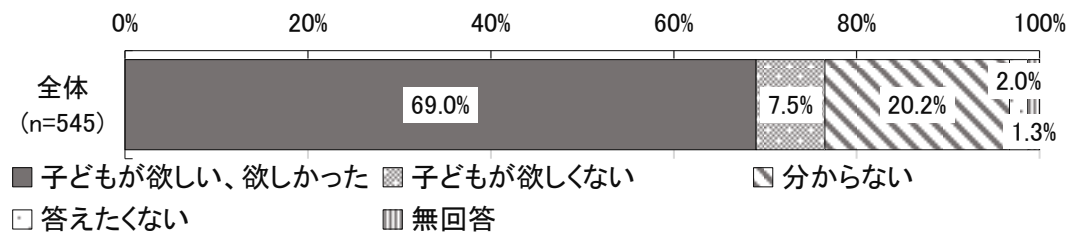
<属性による分析>

世帯構成別でみると、単身世帯の第3位は、「新婚家庭への住まいの支援」と「労働時間短縮などのワークライフバランスの推進」が同率でおよそ3割強となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=545)		安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 56.5%	子育てしやすい職場環境の整備 47.2%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 43.7%
性別	男性(n=224)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 53.1%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 41.5%	子育てしやすい職場環境の整備 36.2%
	女性(n=314)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 58.9%	子育てしやすい職場環境の整備 55.1%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 45.5%
年齢	18～19歳(n=46)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 60.9%	子育てしやすい職場環境の整備 50.0%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 37.0%
	20～24歳(n=102)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 55.9%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 50.0%	子育てしやすい職場環境の整備 37.3%
	25～29歳(n=127)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備／結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 51.2%	子育てしやすい職場環境の整備 49.6%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 46.6%
	30～34歳(n=133)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 57.1%	子育てしやすい職場環境の整備 52.2%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 31.6%
	35～39歳(n=136)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 59.6%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 42.9%	新婚家庭への住まいの支援／労働時間短縮などのワークライフバランスの推進 32.1%
世帯構成	単身世帯(n=84)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 45.2%	子育てしやすい職場環境の整備 55.8%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 53.8%
	夫婦のみの世帯(n=52)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 59.6%	子育てしやすい職場環境の整備 49.4%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 41.0%
	親と子どもだけの世帯(n=271)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 57.9%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 56.5%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 36.5%
	親と子どもと孫のいる世帯(n=85)	子育てしやすい職場環境の整備 58.8%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 47.9%	子育てしやすい職場環境の整備 45.8%
	その他(n=48)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 75.0%		

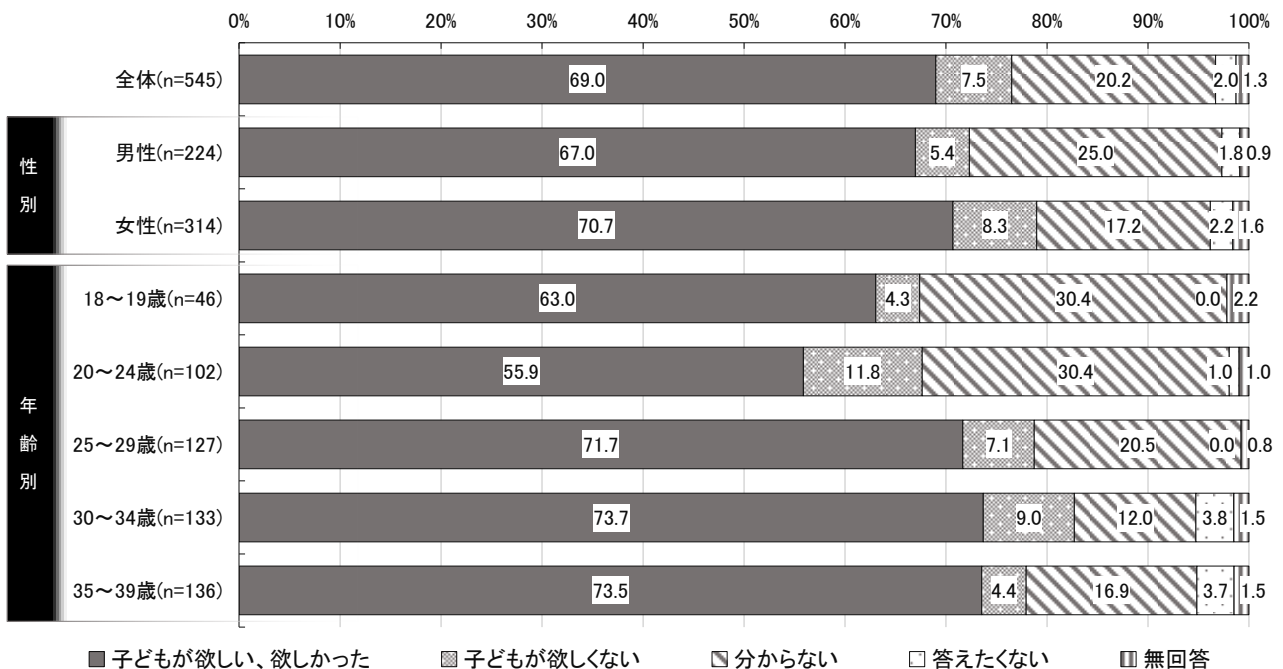
問6 あなたは、子どもが欲しいと考えていますか。また、欲しいと考えていましたか。

子どもを希望するかについては、「子どもが欲しい、欲しかった」が 69.0%と最も高く、次いで、「分からない」(20.2%)、「子どもが欲しくない」(7.5%)、「答えたくない」(2.0%)の順となっています。



<属性による分析>

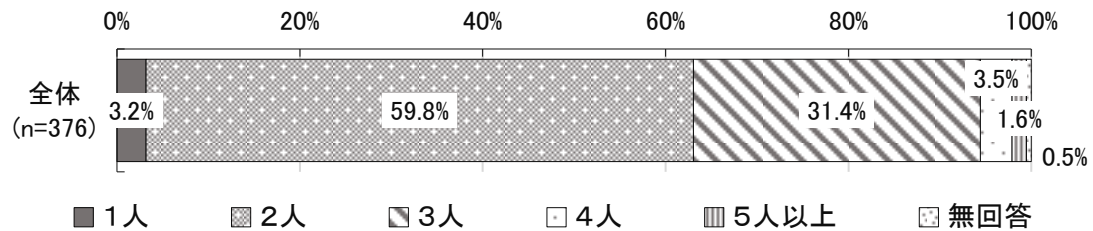
年齢別でみると、「子どもが欲しい、欲しかった」は 25 歳以上では7割を上回っています。



問7

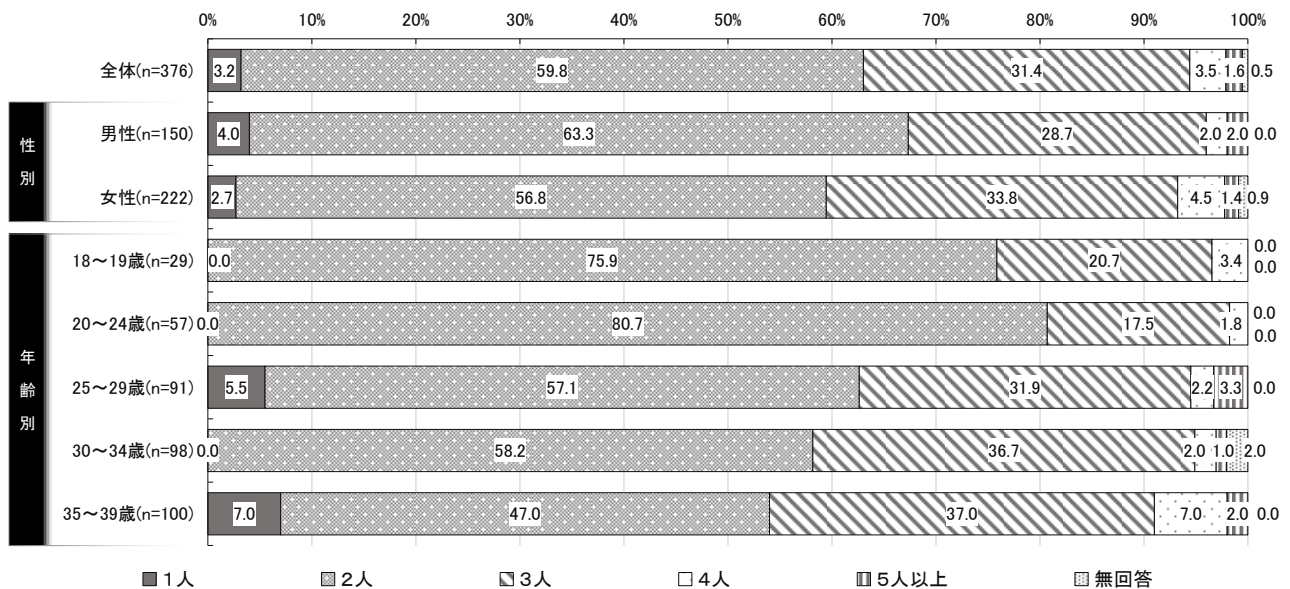
あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。また、何人でしたか。(現在いる子どもの人数も含む) (問6で「1.子どもが欲しい、欲しかった」と回答した方のみ)

理想の子どもの数については、「2人」が 59.8%と最も高く、次いで、「3人」(31.4%)、「4人」(3.5%)、「1人」(3.2%)、「5人以上」(1.6%)の順となっています。



<属性による分析>

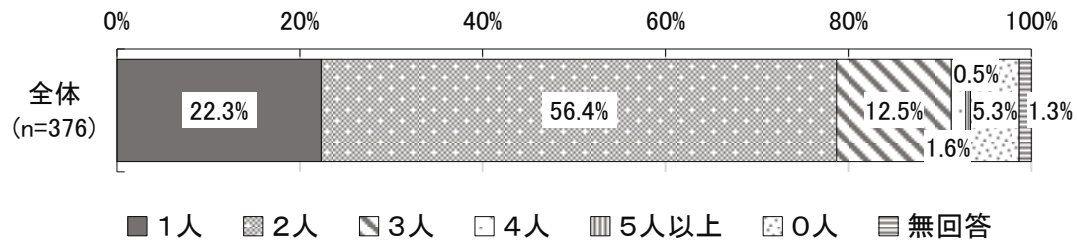
年齢別でみると、概ね年齢が高くなるにつれて「2人」が低くなり、「3人」が高くなっています。



問8

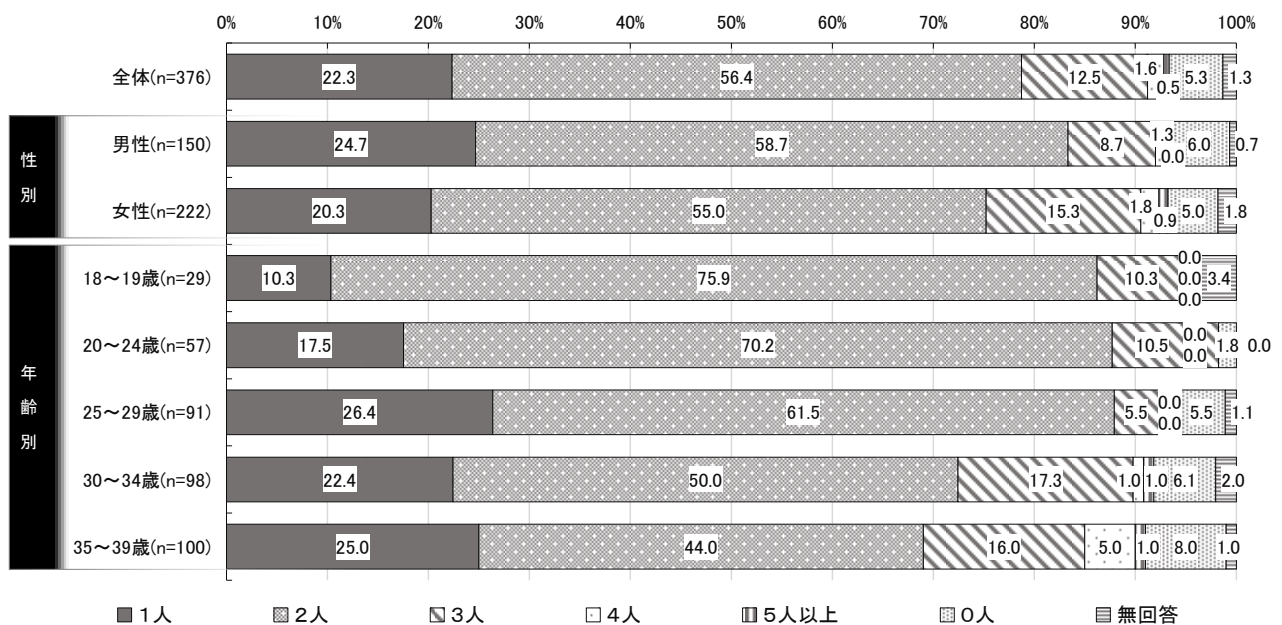
現実的には何人の子どもを持つと思いますか。また、持ちましたか。（現在いる子どもの人数も含む）（問6で「1.子どもが欲しい、欲しかった」と回答した方のみ）

現実的に持つ子どもの数については、「2人」が56.4%と最も高く、次いで、「1人」（22.3%）、「3人」（12.5%）、「0人」（5.3%）、「4人」（1.6%）、「5人以上」（0.5%）の順となっています。



<属性による分析>

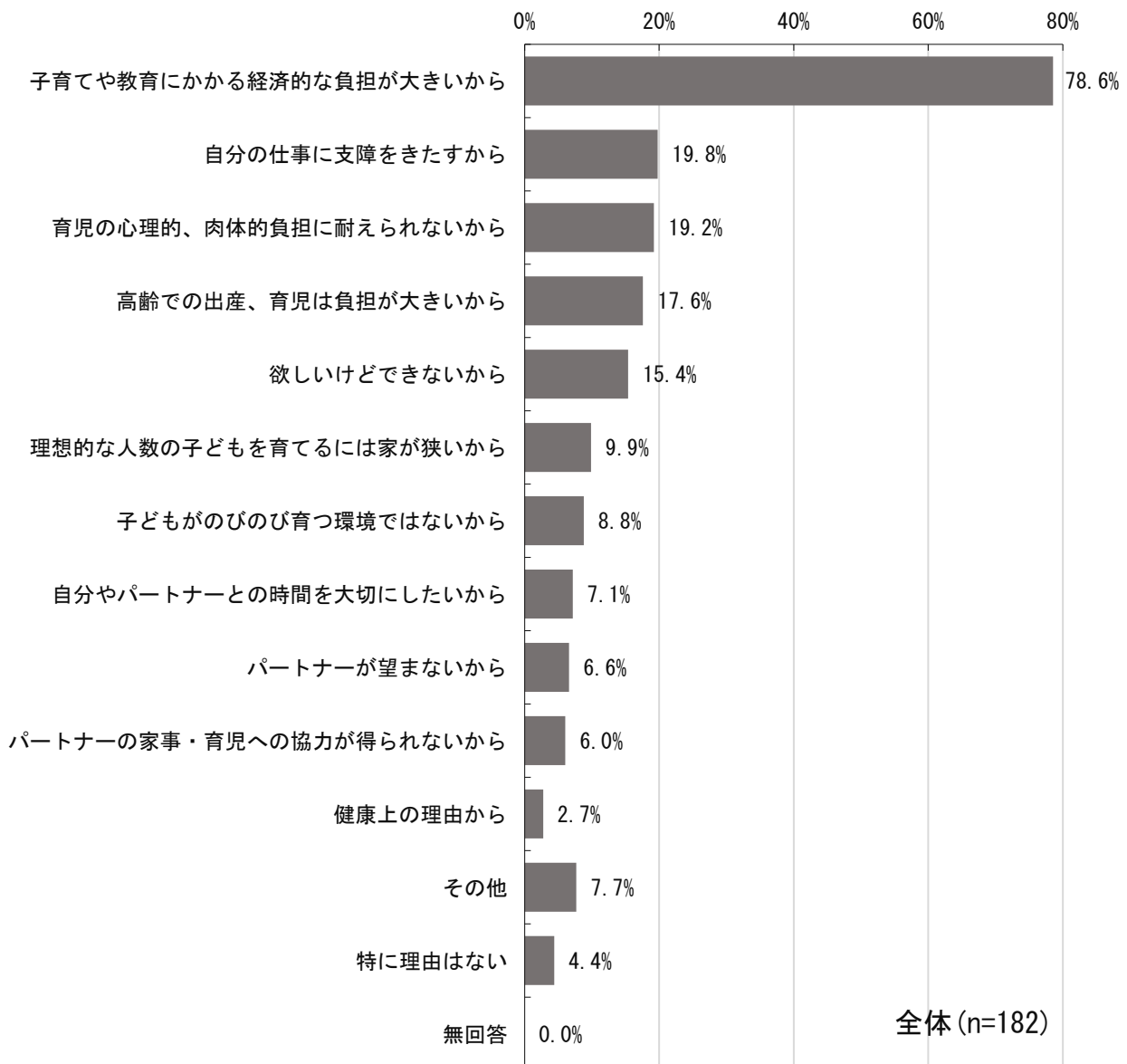
年齢別でみると、30歳以上では「3人」の割合が高くなっています。



問9

理想の子どもの数よりも現実の子どもの数が少ない理由は何ですか。
(問7の回答よりも問8の回答の方が子どもの人数が少ない方のみ) (3つまで○)

理想の子どもの数よりも現実の子どもの数が少ない理由については、「子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから」が 78.6%と最も高く、次いで、「自分の仕事に支障をきたすから」(19.8%)、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(19.2%)となっています。



<属性による分析>

全ての属性で、「子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから」が第1位となっています。

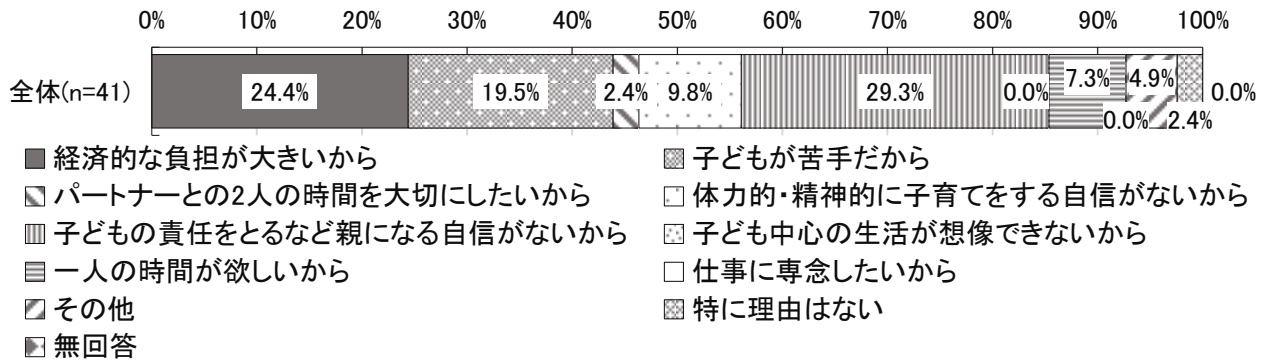
年齢別でみると、35～39歳では「高齢での出産、育児は負担が大きいから」が第2位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=182)		子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 78.6%	自分の仕事に支障をきたすから 19.8%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから 19.2%
性別	男性(n=73)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 82.2%	自分の仕事に支障をきたすから 26.0%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから／高齢での出産、育児は負担が大きいから／欲しいけどできないから 15.1%
	女性(n=107)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 76.6%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから 22.4%	高齢での出産、育児は負担が大きいから 19.6%
年齢	18～19歳(n=8)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 87.5%	自分の仕事に支障をきたすから 37.5%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから 25.0%
	20～24歳(n=18)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 94.4%	自分やパートナーとの時間を大切にしたいから 22.2%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから／欲しいけどできないから 16.7%
	25～29歳(n=49)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 81.6%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから／理想的な人数の子どもを育てるには家が狭いから 16.3%	
	30～34歳(n=52)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 80.8%	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから 26.9%	自分の仕事に支障をきたすから 23.1%
	35～39歳(n=55)	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいから 67.3%	高齢での出産、育児は負担が大きいから 36.4%	自分の仕事に支障をきたすから／欲しいけどできないから 25.5%

問 10

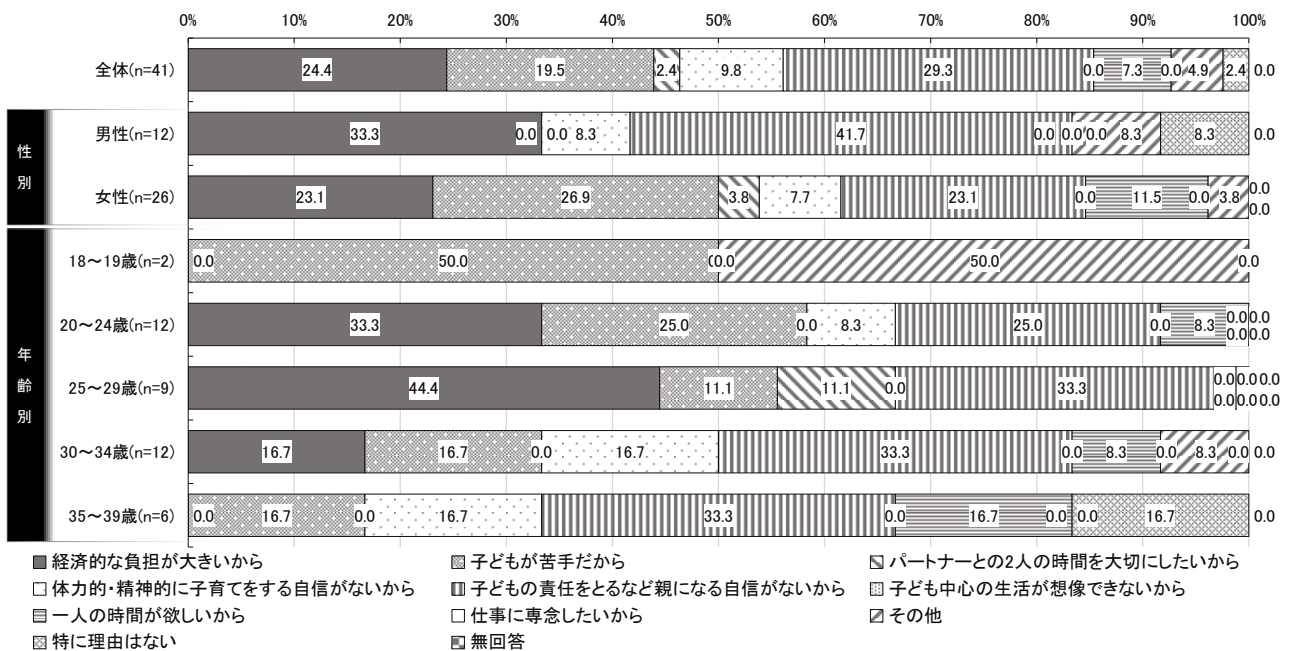
子どもが欲しくない理由は何ですか。
(問6で「2.子どもが欲しくない」と回答した方のみ)

子どもが欲しくない理由については、「子どもの責任をとるなど親になる自信がないから」が29.3%と最も高く、次いで、「経済的な負担が大きいから」(24.4%)、「子どもが苦手だから」(19.5%)、「体力的・精神的に子育てをする自信がないから」(9.8%)などの順となっています。



<属性による分析>

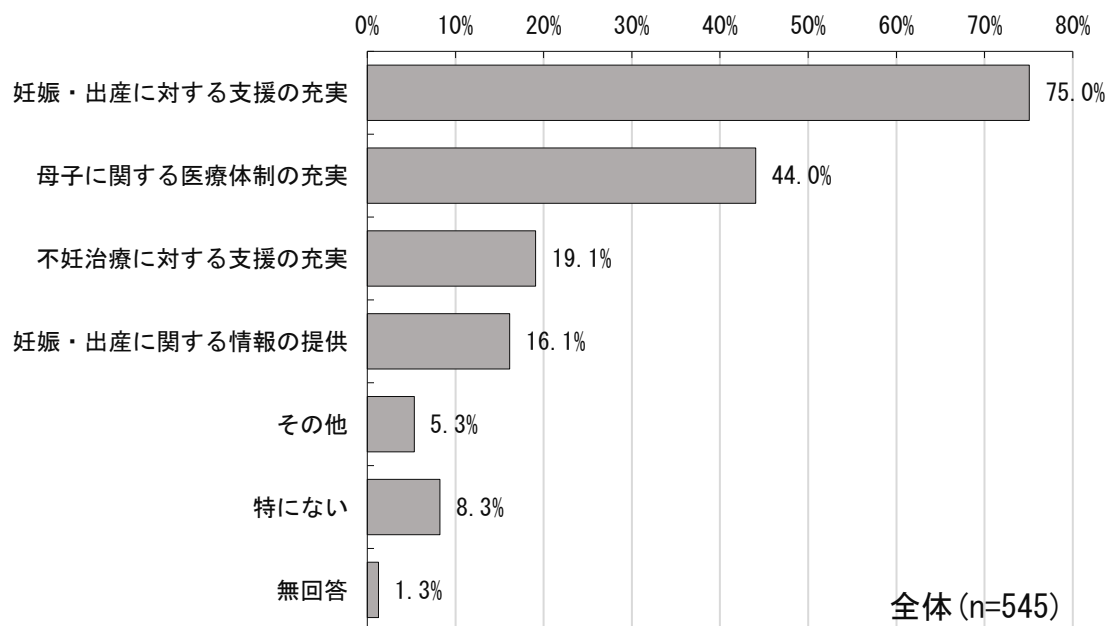
性別でみると、男性では「子どもの責任をとるなど親になる自信がないから」が最も高く、女性では「子どもが苦手だから」が最も高くなっており、男女ともに「経済的な負担が大きいから」が2番目に高くなっています。



問 11 理想的な人数の子どもを産み育てるために米沢市に期待することは何ですか。

(1) 妊娠・出産の不安を解消する支援(2つまで○)

妊娠・出産の不安を解消する支援については、「妊娠・出産に対する支援の充実」が 75.0%と最も高く、次いで、「母子に関する医療体制の充実」(44.0%)、「不妊治療に対する支援の充実」(19.1%)となっています。

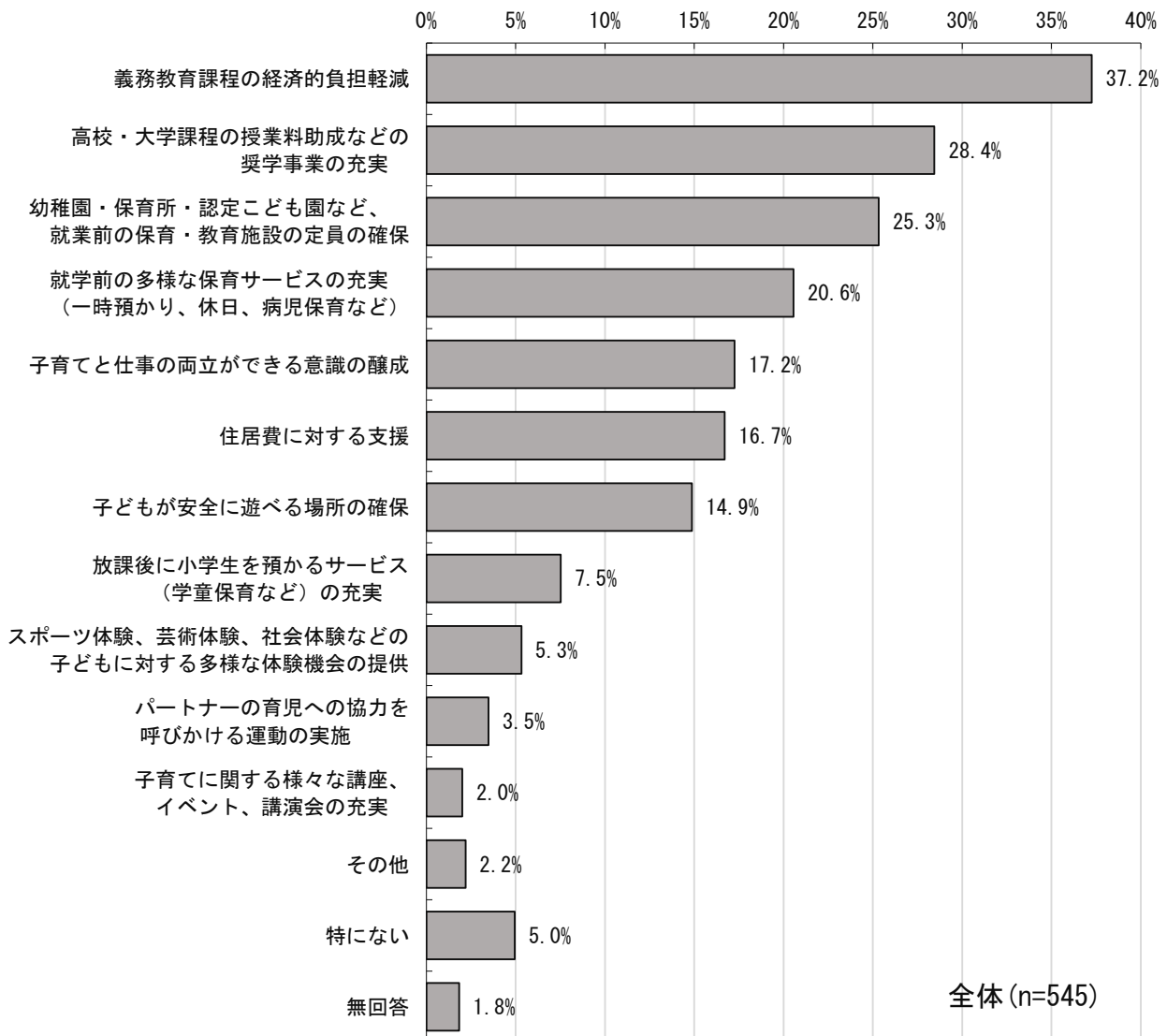


<属性による分析>

属性による支援希望に大きな差はありませんでした。

(2) 子育てを応援する支援(2つまで○)

子育てを応援する支援については、「義務教育課程の経済的負担軽減」が37.2%と最も高く、次いで、「高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実」(28.4%)、「幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保」(25.3%)となっています。



<属性による分析>

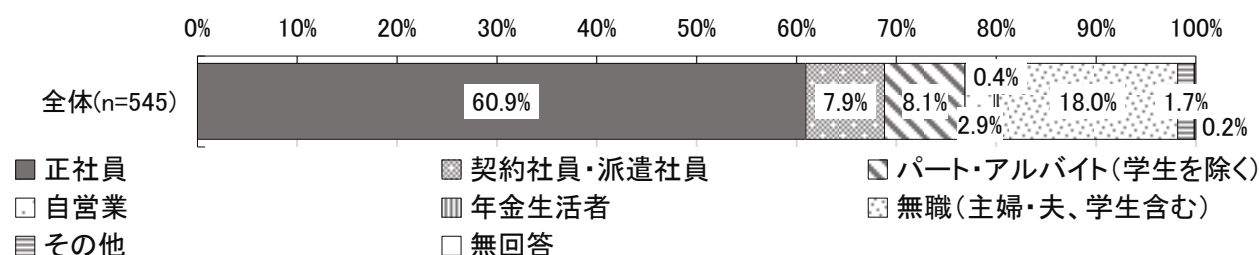
18～19 歳を除き、全ての属性で「義務教育課程の経済的負担軽減」が第1位となっています。

ほぼすべての属性で、「義務教育課程の経済的負担軽減」、「高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実」、「幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保」が第3位までとなっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=545)		義務教育課程の経済的負担軽減 37.2%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 28.4%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 25.3%
性別	男性(n=224)	義務教育課程の経済的負担軽減 33.5%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 29.0%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 25.9%
	女性(n=314)	義務教育課程の経済的負担軽減 39.8%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 30.3%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 23.2%
年齢	18～19 歳(n=46)	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 43.5%	義務教育課程の経済的負担軽減 34.8%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 30.4%
	20～24 歳(n=102)	義務教育課程の経済的負担軽減 38.2%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 32.4%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 31.4%
	25～29 歳(n=127)	義務教育課程の経済的負担軽減 41.7%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 29.1%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 24.4%
	30～34 歳(n=133)	義務教育課程の経済的負担軽減 35.3%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実／ <u>就学前の多様な保育サービスの充実（一時預かり、休日、病児保育など）</u> 25.6%	
	35～39 歳(n=136)	義務教育課程の経済的負担軽減 34.6%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 26.5%	<u>就学前の多様な保育サービスの充実（一時預かり、休日、病児保育など）</u> 24.3%

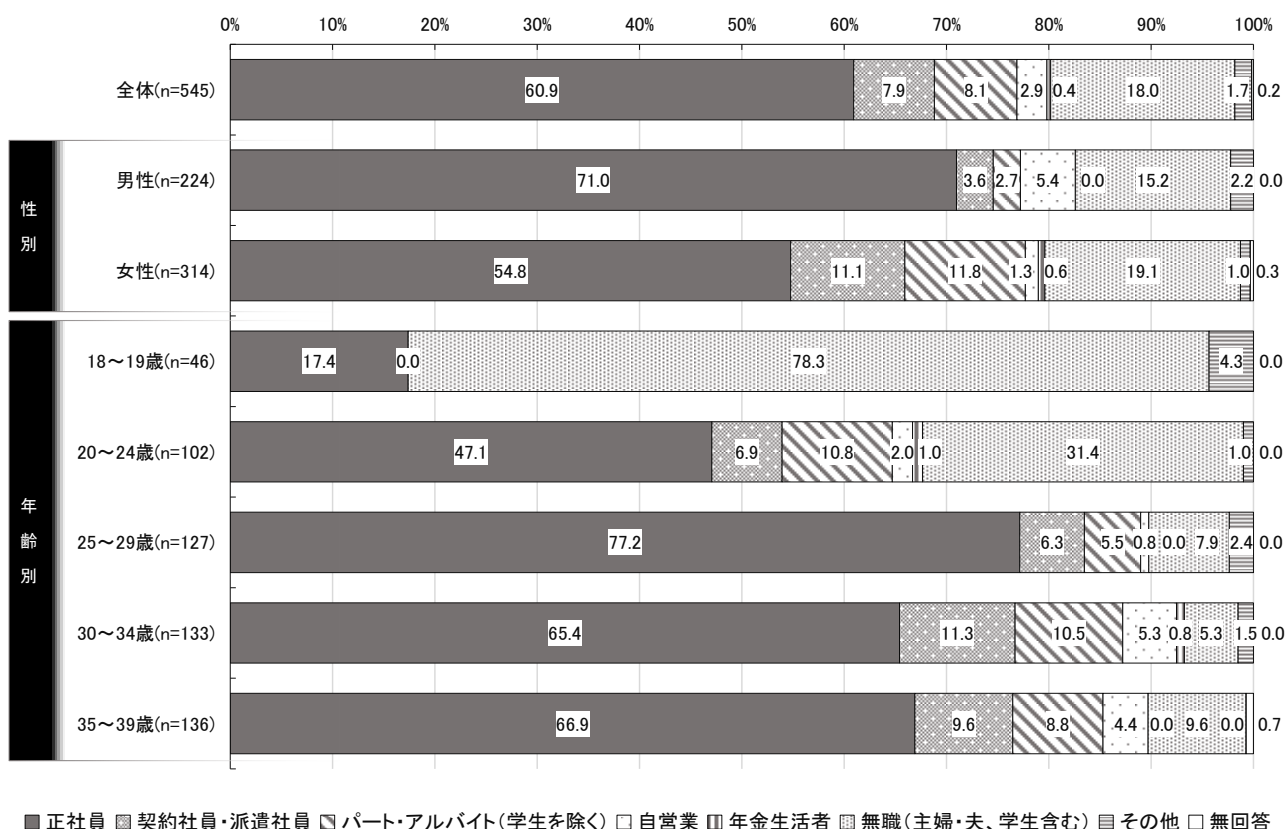
問 12 あなたの就労形態を教えてください。

勤労形態については、「正社員」が 60.9%と最も高く、次いで、「無職（主婦・夫、学生含む）」（18.0%）、「パート・アルバイト（学生を除く）」（8.1%）、「契約社員・派遣社員」（7.9%）、「自営業」（2.9%）となっています。



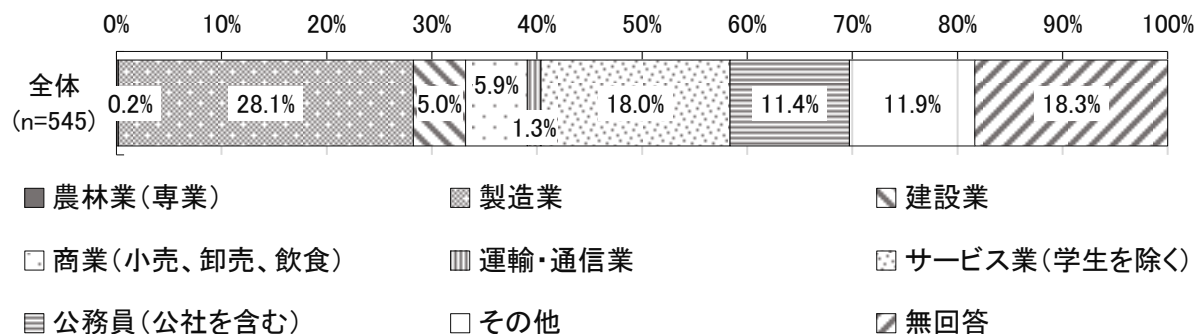
<属性による分析>

性別でみると、男性は7割以上が正社員で、女性の2割が「契約社員・派遣社員」か「パート・アルバイト（学生を除く）」となっています。



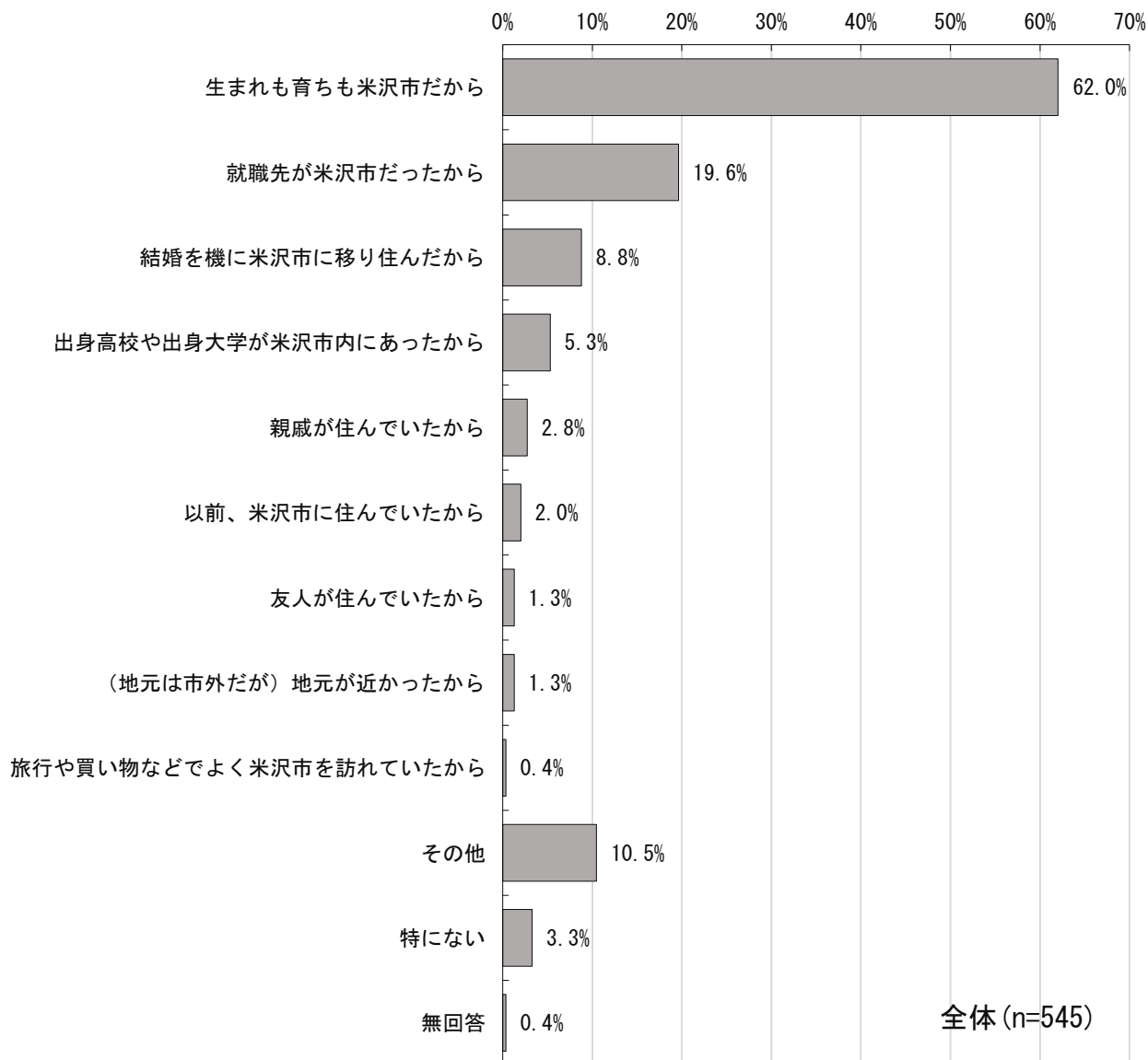
問 13 あなたの職業（※主たるもの）は何ですか。

職業については、「製造業」が28.1%と最も高く、次いで、「無回答」（18.3%）、「サービス業（学生を除く）」（18.0%）、「その他」（11.9%）、「公務員（公社を含む）」（11.4%）、「商業（小売、卸売、飲食）」（5.9%）、「建設業」（5.0%）、「運輸・通信業」（1.3%）の順となっています。



問 14 就職、居住するにあたって米沢市を選んだ理由は何ですか。(2つまで○)

米沢市を就職、居住先に選んだ理由については、「生まれも育ちも米沢市だから」が 62.0%と最も高く、次いで、「就職先が米沢市だったから」(19.6%)、「その他」(10.5%)、「結婚を機に米沢市に移り住んだから」(8.8%)となっています。

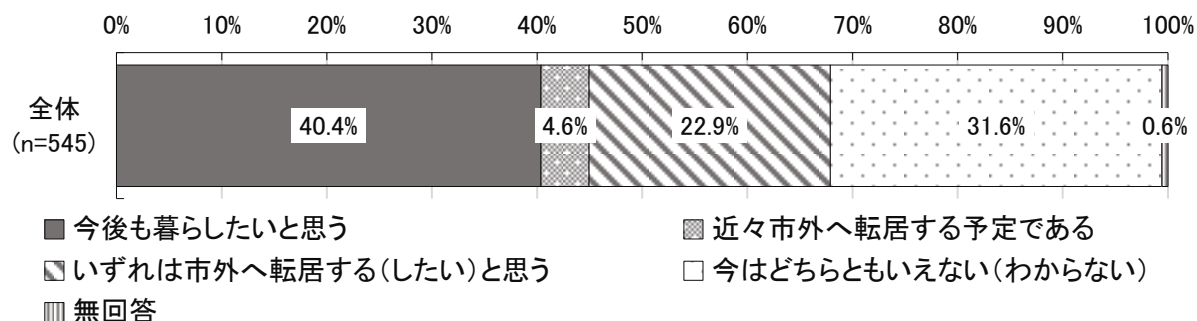


<属性による分析>

属性による差はありませんでした。

問 15 あなたは、米沢市でこれからも暮らし続けたいと思いますか。

米沢市でこれからも暮らし続けたいかについては、「今後も暮らしたいと思う」が40.4%と最も高く、次いで、「今はどちらともいえない(わからない)」(31.6%)、「いずれは市外へ転居する(したい)と思う」(22.9%)、「近々市外へ転居する予定である」(4.6%)の順となっています。



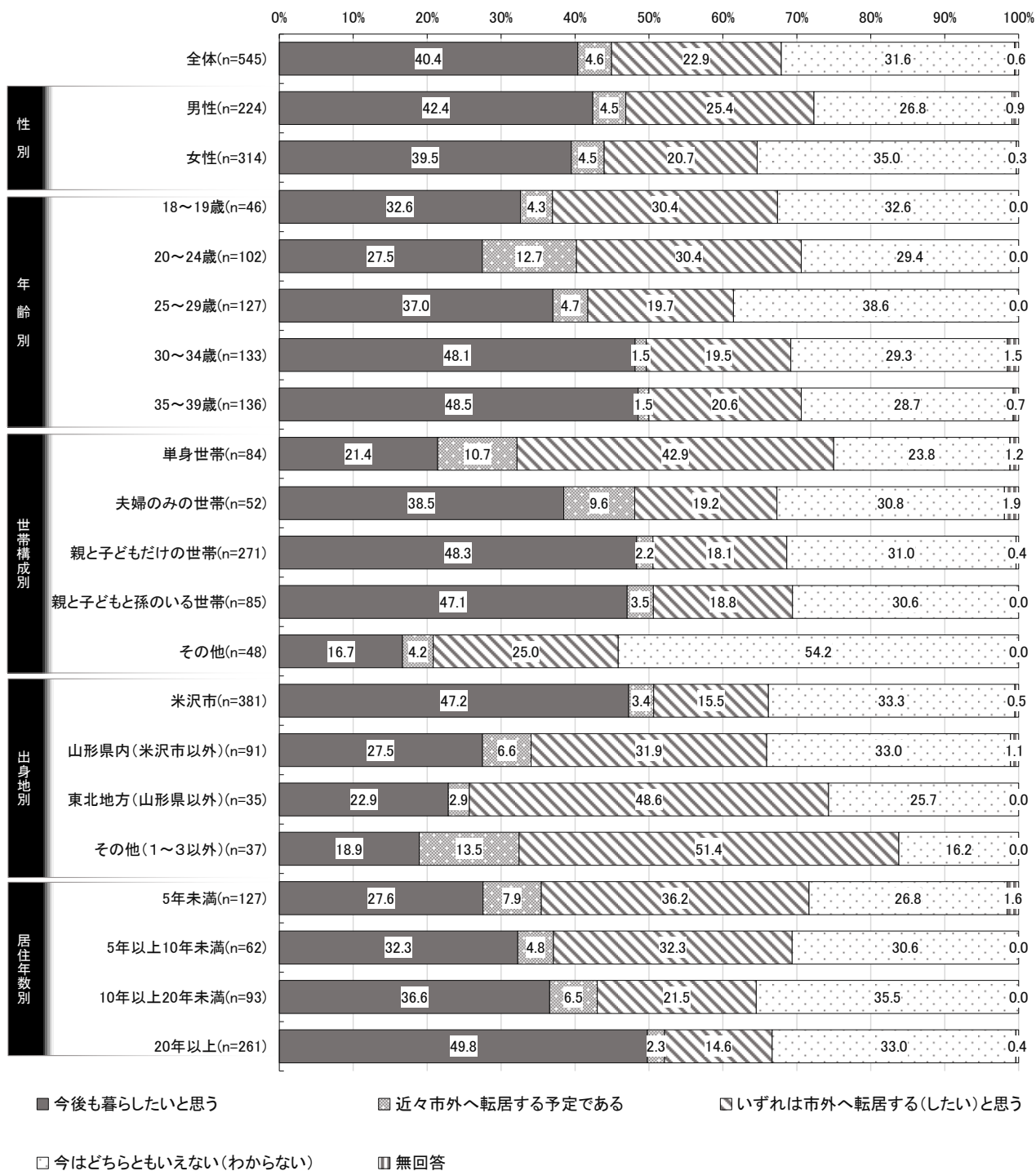
<属性による分析>

年齢別でみると、概ね年齢が高くなるにつれて「今後も暮らしたいと思う」の割合が高くなっています。

世帯構成別でみると、単身世帯の「今後も暮らしたいと思う」の割合は、他の世帯のおよそ半分となっています。

出身地別でみると、米沢市の「今後も暮らしたいと思う」の割合は、他の出身地に比べおよそ2倍となっています。

居住年数別でみると、概ね居住年数が長くなるにつれて「今後も暮らしたいと思う」の割合が高くなっています。

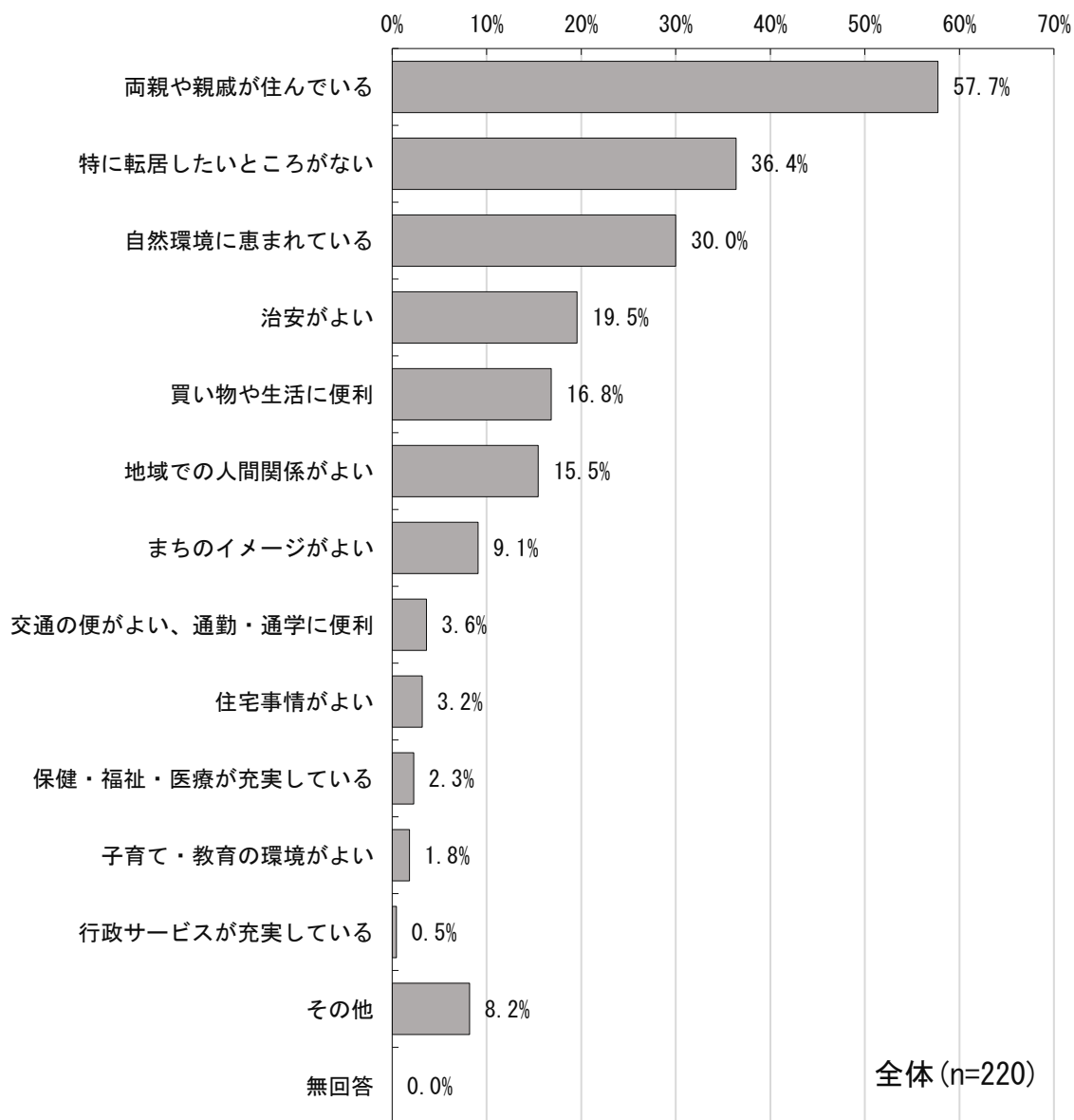


問 16

米沢市で暮らしたいと思う理由をお聞かせください。

(問 15で「1.今後も暮らしたいと思う」と回答した方のみ) (3つまで○)

暮らしたいと理由については、「両親や親戚が住んでいる」が 57.7%と最も高く、次いで、「特に転居したいところがない」(36.4%)、「自然環境に恵まれている」(30.0%)となっています。



<属性による分析>

出身地別でみると、米沢市以外では「買い物や生活に便利」や「まちのイメージがよい」が第3位までに入っています。

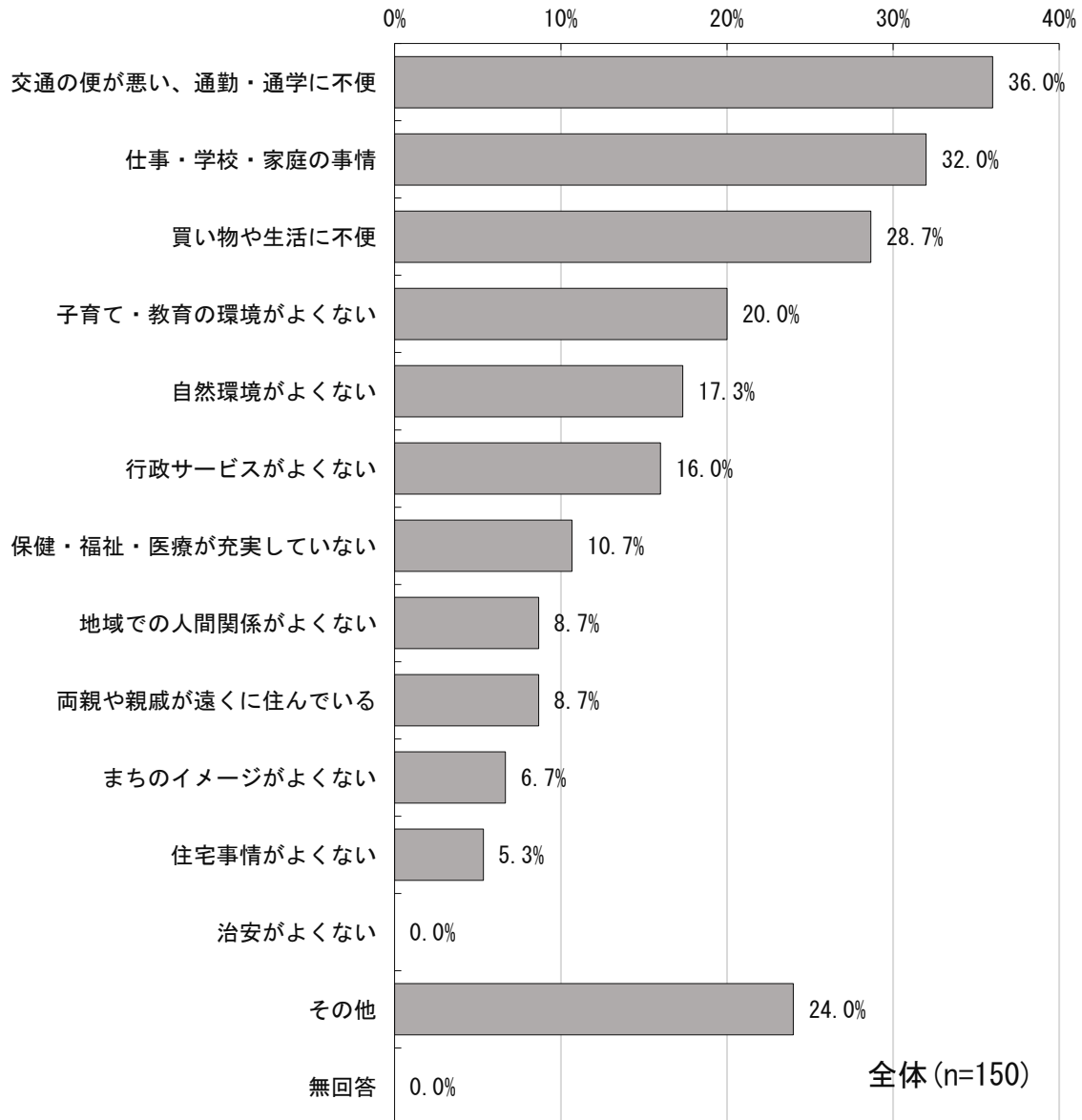
		第1位	第2位	第3位
全体(n=220)		両親や親戚が住んでいる 57.7%	特に転居したいところがない 36.4%	自然環境に恵まれている 30.0%
性別	男性(n=95)	両親や親戚が住んでいる 51.6%	特に転居したいところがない 38.9%	自然環境に恵まれている 31.6%
	女性(n=124)	両親や親戚が住んでいる 62.9%	特に転居したいところがない 33.9%	自然環境に恵まれている 29.0%
年齢	18～19歳(n=15)	自然環境に恵まれている 46.7%	<u>治安がよい</u> ／両親や親戚が住んでいる 40.0%	
	20～24歳(n=28)	特に転居したいところがない 39.3%	自然環境に恵まれている 35.7%	両親や親戚が住んでいる 32.1%
	25～29歳(n=47)	両親や親戚が住んでいる 70.2%	自然環境に恵まれている／特に転居したいところがない 34.0%	
	30～34歳(n=64)	両親や親戚が住んでいる 60.9%	特に転居したいところがない 39.1%	自然環境に恵まれている 23.4%
	35～39歳(n=66)	両親や親戚が住んでいる 60.6%	特に転居したいところがない 37.9%	自然環境に恵まれている 27.3%
世帯構成	単身世帯(n=18)	特に転居したいところがない 50.0%	両親や親戚が住んでいる 33.3%	<u>買い物や生活に便利</u> 27.8%
	夫婦のみの世帯(n=20)	両親や親戚が住んでいる 65.0%	自然環境に恵まれている 30.0%	<u>地域での人間関係がよい</u> ／特に転居したいところがない／ <u>買い物や生活に便利</u> 25.0%
	親と子どもだけの世帯(n=131)	両親や親戚が住んでいる 58.0%	特に転居したいところがない 34.4%	自然環境に恵まれている 32.8%
	親と子どもと孫のいる世帯(n=40)	両親や親戚が住んでいる 60.0%	特に転居したいところがない 45.0%	自然環境に恵まれている 30.0%
	その他(n=8)	両親や親戚が住んでいる 62.5%	<u>治安がよい</u> 37.5%	特に転居したいところがない／ <u>買い物や生活に便利</u> 25.0%
出身地	米沢市(n=180)	両親や親戚が住んでいる 65.6%	特に転居したいところがない 35.6%	自然環境に恵まれている 32.2%
	山形県内(米沢市以外)(n=25)	特に転居したいところがない 48.0%	<u>買い物や生活に便利</u> 36.0%	両親や親戚が住んでいる 24.0%
	東北地方(山形県以外)(n=8)	<u>買い物や生活に便利</u> 50.0%	特に転居したいところがない 37.5%	<u>まちのイメージがよい</u> ／自然環境に恵まれている／両親や親戚が住んでいる 25.0%
	その他(1～3以外)(n=7)	<u>まちのイメージがよい</u> ／自然環境に恵まれている 42.9%	<u>治安がよい</u> ／ <u>買い物や生活に便利</u> 28.6%	
居住年数	5年未満(n=35)	両親や親戚が住んでいる 57.1%	<u>買い物や生活に便利</u> 40.0%	特に転居したいところがない 34.3%
	5年以上10年未満(n=20)	両親や親戚が住んでいる 40.0%	<u>治安がよい</u> 30.0%	自然環境に恵まれている 30.0%
	10年以上20年未満(n=34)	特に転居したいところがない 41.2%	自然環境に恵まれている 35.3%	両親や親戚が住んでいる 32.4%
	20年以上(n=130)	両親や親戚が住んでいる 66.9%	特に転居したいところがない 38.5%	自然環境に恵まれている 31.5%

問 17

市外へ転居したい・市外で暮らしたいと思う理由をお聞かせください。

(問 15で「2.近々市外へ転居する予定である」、「3.いずれは市外へ転居する(したい)と思う」と回答した方のみ)(3つまで○)

転出したい理由については、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」が 36.0%と最も高く、次いで、「仕事・学校・家庭の事情」(32.0%)、「買い物や生活に不便」(28.7%)となっています。



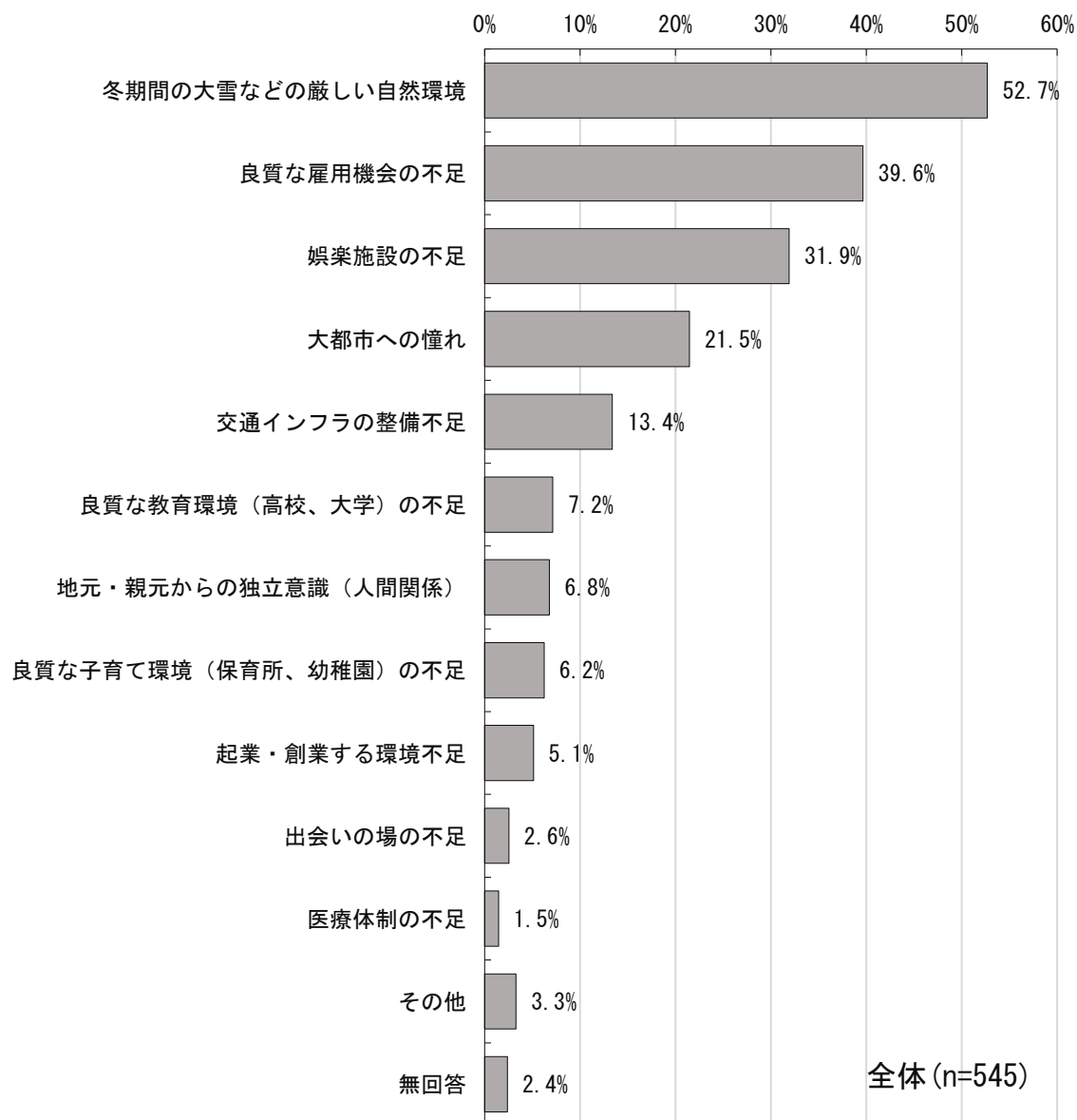
<属性による分析>

年齢別でみると、30～34 歳では「行政サービスが良くない」と「自然環境が良くない」が同率で第2位となっており、35～39 歳では「子育て・教育の環境が良くない」が第2位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=150)		交通の便が悪い、通勤・通学に不便 36.0%	仕事・学校・家庭の事情 32.0%	買い物や生活に不便 28.7%
性別	男性(n=67)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 40.3%	仕事・学校・家庭の事情 34.3%	買い物や生活に不便 26.9%
	女性(n=79)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 34.2%	仕事・学校・家庭の事情／買い物や生活に不便	31.6%
年齢	18～19 歳(n=16)	買い物や生活に不便 43.8%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 37.5%	仕事・学校・家庭の事情 31.3%
	20～24 歳(n=44)	仕事・学校・家庭の事情 54.5%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 43.2%	買い物や生活に不便 38.6%
	25～29 歳(n=31)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便／買い物や生活に不便 32.3%	仕事・学校・家庭の事情 29.0%	
	30～34 歳(n=28)	子育て・教育の環境が良くない 32.1%	<u>行政サービスが良くない</u> ／ <u>自然環境が良くない</u> 28.6%	
	35～39 歳(n=30)	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 43.3%	<u>子育て・教育の環境が良くない</u> ／その他 33.3%	

問 18 米沢市が抱える人口流出の原因は何だと考えますか。(2つまで○)

人口流出の原因については、「冬期間の大雪などの厳しい自然環境」が 52.7%と最も高く、次いで、「良質な雇用機会の不足」(39.6%)、「娯楽施設の不足」(31.9%)となっています。



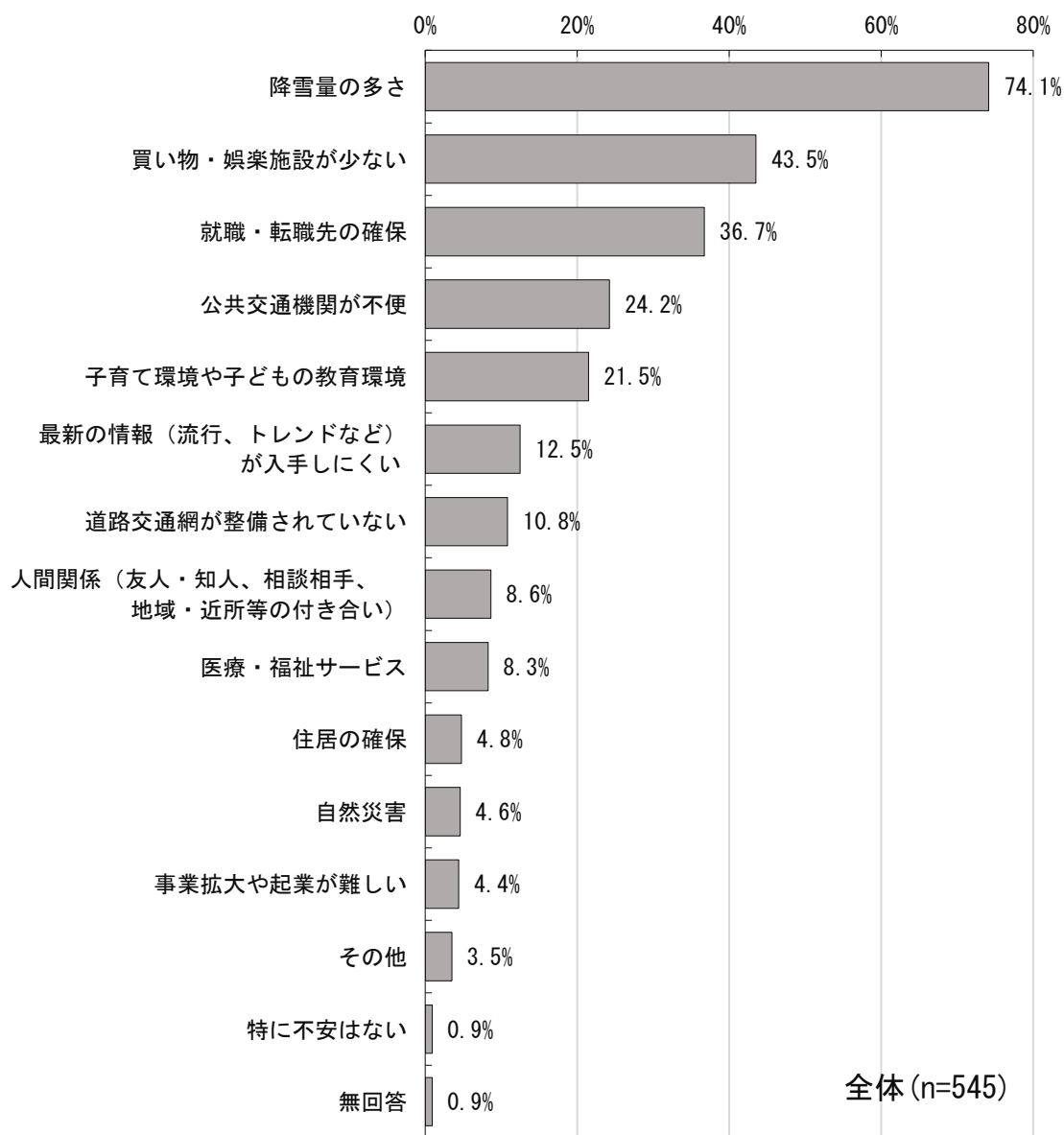
<属性による分析>

年齢別でみると、18～19 歳では「娯楽施設の不足」が第1位、「大都市への憧れ」が第2位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=545)		冬期間の大雪などの厳しい自然環境 52.7%	良質な雇用機会の不足 39.6%	娯楽施設の不足 31.9%
性別	男性(n=224)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 52.2%	良質な雇用機会の不足 36.2%	娯楽施設の不足 29.9%
	女性(n=314)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 53.8%	良質な雇用機会の不足 42.0%	娯楽施設の不足 33.8%
年齢	18～19 歳(n=46)	娯楽施設の不足 37.0%	大都市への憧れ 32.6%	冬期間の大雪などの厳しい自然環境／良質な雇用機会の不足 28.3%
	20～24 歳(n=102)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 49.0%	良質な雇用機会の不足 35.3%	娯楽施設の不足 34.3%
	25～29 歳(n=127)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 51.2%	良質な雇用機会の不足 38.6%	娯楽施設の不足 30.7%
	30～34 歳(n=133)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 57.1%	良質な雇用機会の不足 43.6%	娯楽施設の不足 36.1%
	35～39 歳(n=136)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 61.0%	良質な雇用機会の不足 44.1%	娯楽施設の不足 25.7%

問 19 米沢市で暮らす場合、生活する環境で不安なことは何ですか。(3つまで○)

生活する環境で不安なことについては、「降雪量の多さ」が74.1%と最も高く、次いで、「買い物・娯楽施設が少ない」(43.5%)、「就職・転職先の確保」(36.7%)となっています。



<属性による分析>

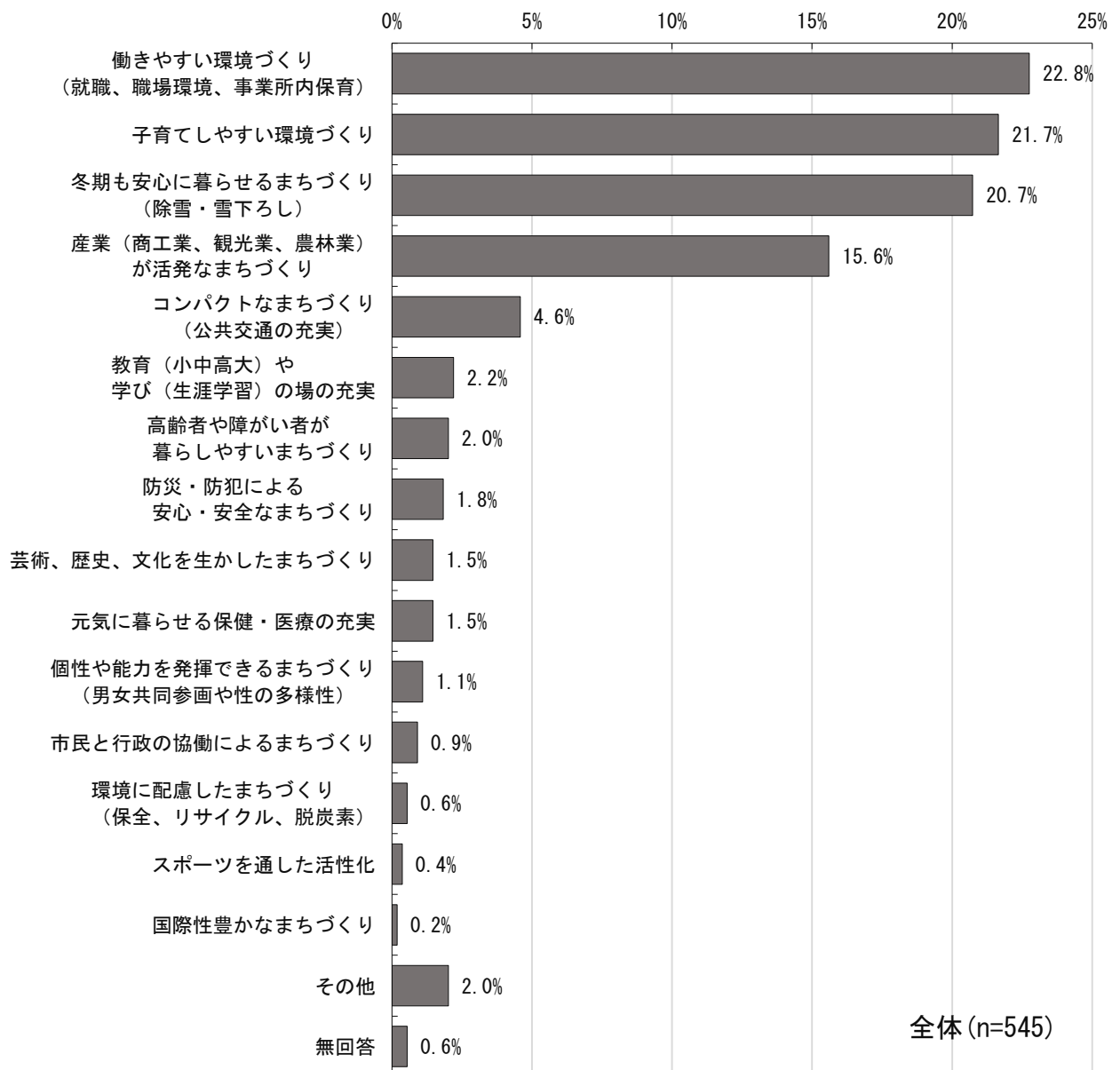
属性による差はありませんでした。

問 20

これからの米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組は何だと思えますか。(3つまで選び、該当する順位欄に番号を記入)

【1位】

米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組で1位として挙げられたものについては、「働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育)」が22.8%と最も高く、次いで、「子育てしやすい環境づくり」(21.7%)、「冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし)」(20.7%)、「産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり」(15.6%)、「コンパクトなまちづくり(公共交通の充実)」(4.6%)などの順となっています。



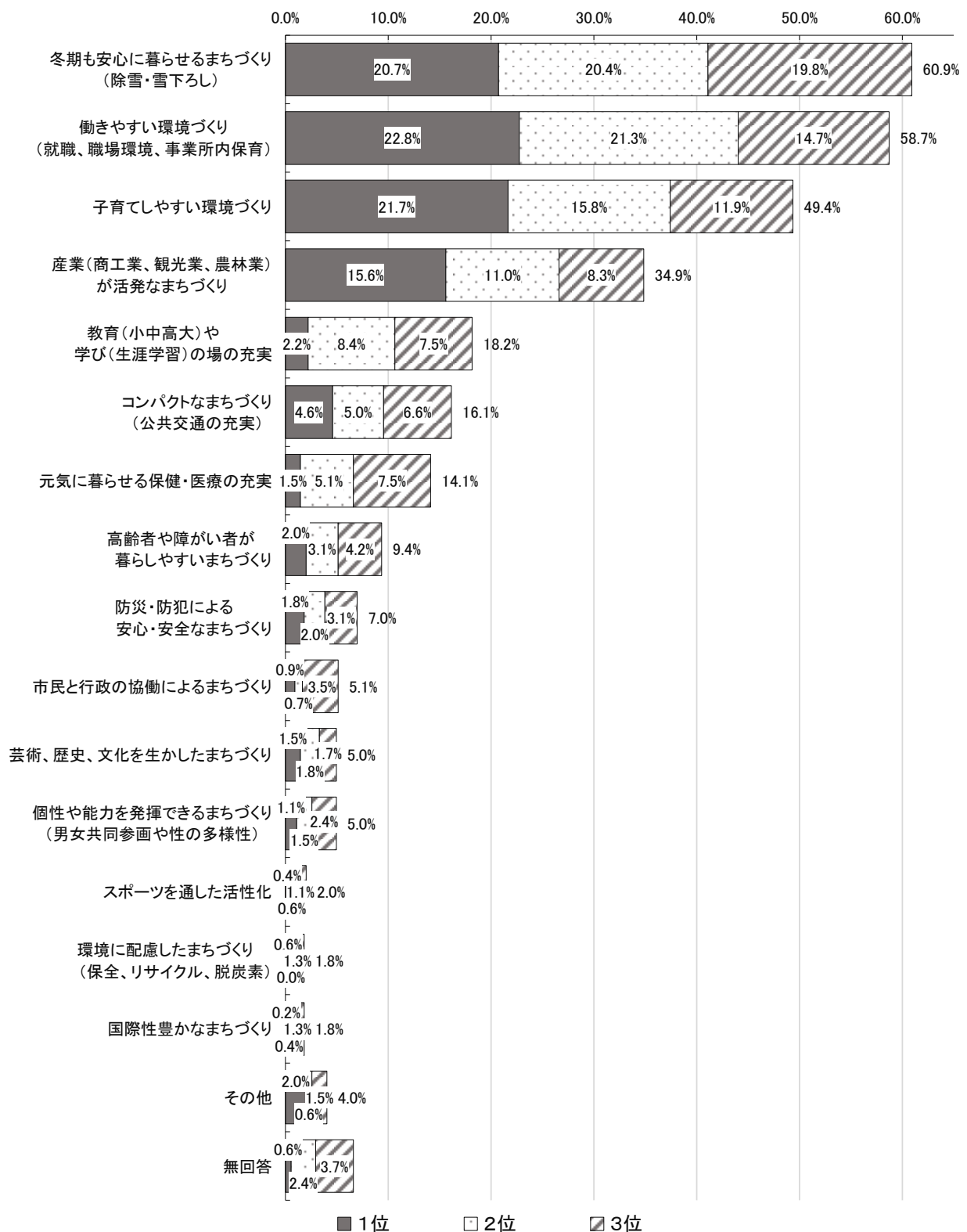
<属性による分析>

年齢別でみると、25～34 歳では「子育てしやすい環境づくり」が第1位となっており、18～24 歳では「産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり」が第2位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=545)		働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 22.8%	子育てしやすい環境づく り 21.7%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 20.7%
性別	男性(n=224)	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 20.5%	産業(商工業、観光業、 農林業)が活発なまちづ くり 20.1%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 18.8%
	女性(n=314)	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 24.8%	子育てしやすい環境づく り 23.9%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 22.6%
年齢	18～19 歳(n=46)	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 23.9%	産業(商工業、観光業、 農林業)が活発なまちづ くり 17.4%	コンパクトなまちづくり (公共交通の充実)／子 育てしやすい環境づくり ／冬期も安心に暮らせ るまちづくり(除雪・雪下 ろし) 13.0%
	20～24 歳(n=102)	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 25.5%	産業(商工業、観光業、 農林業)が活発なまちづ くり 20.6%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 15.7%
	25～29 歳(n=127)	子育てしやすい環境づく り 25.2%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 22.8%	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 21.3%
	30～34 歳(n=133)	子育てしやすい環境づく り 27.1%	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 22.6%	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 21.8%
	35～39 歳(n=136)	冬期も安心に暮らせるま ちづくり(除雪・雪下ろ し) 24.3%	働きやすい環境づくり (就職、職場環境、事業 所内保育) 22.1%	子育てしやすい環境づく り 20.6%

【1～3位合計】

米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組（1～3位）の合計については、「冬期も安心して暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし）」が 60.9%と最も高く、次いで、「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」（58.7%）、「子育てしやすい環境づくり」（49.4%）となっています。



<属性による分析>

年齢別でみると、24 歳以下では「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」が第1位、「産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり」が第3位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=545)		冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 60.9%	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 58.7%	子育てしやすい環境づくり 49.4%
性別	男性(n=224)	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 57.1%	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 56.3%	子育てしやすい環境づくり 46.0%
	女性(n=314)	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 65.3%	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 59.9%	子育てしやすい環境づくり 51.6%
年齢	18～19 歳(n=46)	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 58.7%	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 47.8%	産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり 45.7%
	20～24 歳(n=102)	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 61.8%	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 60.8%	産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり 36.3%
	25～29 歳(n=127)	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 59.8%	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 56.7%	子育てしやすい環境づくり 55.9%
	30～34 歳(n=133)	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 61.7%	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 59.4%	子育てしやすい環境づくり 58.6%
	35～39 歳(n=136)	冬期も安心に暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし） 66.2%	働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育） 58.1%	子育てしやすい環境づくり 50.0%